

2024 年度 (対象年度 2021～2023 年度) 自己点検・評価シート

自己評価組織 経営情報学研究科

基準 2 内部質保証

I. 課題事項等への対応状況

前回の「自己点検・評価シート」の課題事項、ピアレビュー結果（留意点）を転記し、改善・向上への取り組みおよび進捗状況を記入してください。

☑ 課題事項 □ ピアレビュー結果（留意点）	
項目 No 0203	教員活動重点目標・自己評価シート[0203c][0203f]、教員活動重点目標・自己評価シート（教員活動報告自己申告書）[0203d][0203g]に重複項目があり、整理する必要がある。また、学部評価シートの評価項目との統一性を持つようにすべきである。
改善・向上への取り組みおよび進捗状況 *成果の有無を問わない	
学部評価シート[2-1][2-2][2-3]と教員活動重点目標・自己評価シート[2-4][2-5][2-6]の評価項目との統一性あるいは整合性について意見交換を行った。	

II. 自己点検・評価

1. 現状説明と自己評価

「自己評価」欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが他の模範となりうる」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善の余地がある」「B：取り組んでいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で、対象年度における自己評価を記入してください。

「現状説明」欄に、それぞれの「自己点検・評価項目」について、対象年度における実施状況を「評価の視点」も踏まえて記入してください。

自己点検・評価項目	0201	内部質保証のための方針を適切に設定していること。また、教育の充実と学習成果の向上を図るために、内部質保証システムを整備し、適切に機能させていること。	自己評価	A
評価の視点	(3)大学全体規模や学部、研究科その他の組織（教職課程を実施する全学的組織を含む）における自己点検・評価をそれぞれ定期的に実施し、その結果を活用して改善・向上に取り組んでいるか。 (4)学部、研究科その他の組織における自己点検・評価の客観性、妥当性を高めるために、学生の意見や外部の視点を取り入れるなどの工夫をしているか。 (5)行政機関、認証評価機関等から指摘事項があった場合、それに適切に対応しているか。			
現状説明				
本学では持続的な改善向上（質保証）[2-7]を目指して、大学全体としての自己点検・評価、各組織、部署における自己点検・評価を行っている。このような方針に沿って、本研究科においては各教員による自己点検・評価[2-4][2-5][2-6][2-8][2-9]を実施するとともに、学部独自の評価シート[2-1][2-2][2-3]を用いて主任会議メンバーによる教員の評価を実施している。				

2. 長所・特色

各項目の「現状説明」の中で「先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の模範となるもの」を記入してください。

長所・特色	《箇条書き》
項目 No. 0201	学部独自の評価シート[2-1][2-2][2-3]を用いた主任会議メンバーによる教員の評価

3. 課題事項と今後の改善・向上方策

各項目の「現状説明」の中で「改善すべき点、向上すべき点」など、課題として認識した事項や、更なる向上を目指す事項について、現時点での改善・向上への取り組み（予定）および進捗状況を記入してください。

課題事項	《箇条書き》
項目 No. 0201	学部独自の評価シート[2-1][2-2][2-3]と教員活動重点目標・自己評価シート[2-4][2-5][2-6]の評価項目の整合性
今後の改善・向上方策	
	主任会議の議題として取り上げる方向で検討している。

《以下はピアレビュー委員が記入します》

Ⅲ. ピアレビュー結果

総評
レビューなし
長所・特色
留意点
*各項に留意点レベルを記入
【A】・・・緊急の改善を要する事項
【B】・・・検討を要する事項

根拠資料 No.	ピアレビューにより追加された根拠資料の名称	提出 区分

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料

●：提出するが評価者以外の閲覧を不可とする

△：現部署で保管

2024 年度 (対象年度 2021～2023 年度) 自己点検・評価シート

自己評価組織 経営情報学研究科

基準 4 教育・学習 (4a)

I. 課題事項等への対応状況

前回の「自己点検・評価シート」の課題事項、ピアレビュー結果（留意点）を転記し、改善・向上への取り組みおよび進捗状況を記入してください。

<input checked="" type="checkbox"/> 課題事項	<input type="checkbox"/> ピアレビュー結果（留意点）
項目 No. 0403	個々の授業科目の内容および方法が適しているかの検証ができる体制を構築し制度化する。
改善・向上への取り組みおよび進捗状況	*成果の有無を問わない
大学院授業評価のアンケートの後に、専攻主任が直接、個々の授業科目の内容および方法が適しているかについて学生の意見を聴取した。学生からの意見は FD 活動で教員に公表し、FD 活動で対策を講じている[4a-1][4a-2]。	

II. 自己点検・評価

1. 現状説明と自己評価

「自己評価」欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが他の模範となりうる」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善の余地がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で、対象年度における自己評価を記入してください。

「現状説明」欄に、それぞれの「自己点検・評価項目」について、対象年度における実施状況を「評価の視点」も踏まえて記入してください。

自己点検・評価項目	0401	達成すべき学習成果を明確にし、教育・学習の基本的なあり方を示していること。	自己評価	S
評価の視点	(1)学位授与方針において、学生が修得すべき知識、技能、態度等の学習成果を明らかにしているか。また、教育課程の編成・実施方針において、学習成果を達成するために必要な教育課程および教育・学習の方法を明確にしているか。 (2)上記の学習成果は授与する学位にふさわしいか。			
現状説明				
授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針（CP）を定め、大学院の学生便覧[4a-3 pp. ⑩-⑪]に公表している。				

自己点検・評価項目	0402	学習成果の達成につながるよう各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していること。	自己評価	S
評価の視点	学習成果の達成につながるよう、教育課程の編成・実施方針に沿って授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。 ※ 具体的な例 ・授与する学位と整合し専門分野の学問体系等にも適った授業科目の開講。 ・各授業科目の位置づけ（主要授業科目の類別等）と到達目標の明確化。 ・学習の順次性に配慮した授業科目の年次・学期配当および学びの過程の可視化。 ・学生の学習時間の考慮とそれを踏まえた授業期間および単位の設定。			

現状説明
科目編成については、各科目群の位置づけを明確にしている。また、科目の基礎と応用が連続している科目については科目名Ⅰ、Ⅱを明記し、科目Ⅰを履修しないと科目Ⅱが履修できない体制をとり、履修相談時に個別に説明を行っている[4a-3 pp.31-44]。

自己点検・評価項目	0403	課程修了時に求められる学習成果の達成のために適切な授業形態、方法をとっていること。また、学生が学習を意欲的かつ効果的に進めるための指導や支援を十分に行っていること。	自己評価	A
評価の視点	<p>(1)授業形態、授業方法が学部・研究科の教育研究上の目的や課程修了時に求める学習成果および教育課程の編成・実施方針に応じたものであり、期待された効果が得られているか。</p> <p>(2)ICTを利用した遠隔授業を提供する場合、自らの方針に沿って、適した授業科目に用いられているか。また、効果的な授業となるような工夫を講じ、期待された効果が得られているか。</p> <p>(3)授業の目的が効果的に達成できるよう、学生の多様性を踏まえた対応や学生に対する適切な指導等を行い、それによって学生が意欲的かつ効果的に学習できているか。</p> <p>※ 具体的な例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習状況に応じたクラス分けなど、学生の多様性への対応。 ・単位の実質化（単位制度の趣旨に沿った学習内容、学習時間の確保）を図る措置。 ・シラバスの作成と活用（学生が授業の内容や目的を理解し、効果的に学習を進めるために十分な内容であるか。）。 ・授業の履修に関する指導、学習の進捗等の状況や学生の学習の理解度・達成度の確認、授業外学習に資するフィードバック等などの措置。 			

現状説明
<p>シラバスの内容については、各専攻主任による第三者点検が実施されている[4a-4][4a-5][4a-6]。</p> <p>オリエンテーション時に年間スケジュール[4a-7][4a-8][4a-9]を配付し、これに基づいて指導している。</p> <p>経営情報学専攻博士前期課程1年は「前期課程履修計画表<修士論文研究計画書>」、前期課程2年は「修士論文研究中間報告書」を作成・提出させることにより、当該年度内の研究進捗状況を把握し、適切な指導を行っている[4a-3 pp.31-44]。</p> <p>経営情報学専攻博士後期課程1年は「後期課程履修計画表」、「(1年次)博士論文研究計画書」、博士後期課程2年は「(2年次)博士論文研究計画書」を作成・提出させることにより、当該年度内の研究進捗状況を把握し、適切な指導を行っている[4a-3 pp.31-44]。</p> <p>経営学専攻修士課程2年は「修士論文研究計画書」を作成・提出させることにより、当該年度内の研究進捗状況を把握し、適切な指導を行っている[4a-3 pp.31-44]。</p>

2. 長所・特色

各項目の「現状説明」の中で「先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の模範となるもの」を記入してください。

長所・特色 《箇条書き》
項目 No. 0402 科目編成について、各科目群の位置づけを明確にしている[4a-3 pp.31-44]。

3. 課題事項と今後の改善・向上方策

各項目の「現状説明」の中で「改善すべき点、向上すべき点」など、課題として認識した事項や、更なる向上を目指す事項について、現時点での改善・向上への取り組み（予定）および進捗状況を記入してください。

課題事項 《箇条書き》
項目 No. 0403 学習状況に応じたクラス分けなど、学生の多様性への対応

今後の改善・向上方策
出身学部の違いや社会人経験の有無などによる学力や興味・関心の違いに応じて、講義のレベルをどのように調整すべきかについて、FDの議題として取り上げる方向で検討している。

《以下はピアレビュー委員が記入します》

Ⅲ. ピアレビュー結果

総評
<p>0401 DPに沿って達成すべき学習成果を明確にして教育・学習の基本的なあり方を示し、公表している[4a-3]。</p> <p>0402 学習成果の達成のため、適切な措置が講じられている[4a-3]。</p> <p>0403 授業形態、授業方法が教育課程に応じたものとなり、チェック体制が整えられている[4a-4][4a-5][4a-6]。 学生の研究進捗状況を把握するため、「履修計画表」「研究計画書」「中間報告書」等を作成・提出させ、適切な指導を行っている[4a-3]。</p> <p>以上のことから、DPおよびCPの適切な公表が行われるとともにDP・CPに基づいて教育課程が編成され、教育課程のチェック体制を構成して実践していると判断できる。</p>
長所・特色
<p>0402 科目編成について、各科目群の位置づけを明確にしている[4a-3]。</p> <p>0403 学生の研究進捗状況を把握するため、「履修計画表」「研究計画書」「中間報告書」等を作成・提出させ、適切な指導を行っている[4a-3]。</p>
留意点
<p>*各項に留意点レベルを記入</p> <p>[A]・・・緊急の改善を要する事項 [B]・・・検討を要する事項</p>
特になし

根拠資料 No.	ピアレビューにより追加された根拠資料の名称	提出 区分
	なし	

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料
●：提出するが評価者以外の閲覧を不可とする
△：現部署で保管

2024 年度 (対象年度 2021～2023 年度) 自己点検・評価シート

自己評価組織 経営情報学研究科

基準 4 教育・学習 (4b)

I. 課題事項等への対応状況

前回の「自己点検・評価シート」の課題事項、ピアレビュー結果（留意点）を転記し、改善・向上への取り組みおよび進捗状況を記入してください。

<input checked="" type="checkbox"/> 課題事項	<input type="checkbox"/> ピアレビュー結果（留意点）
項目 No. 0405	成績評価の客観性、厳格性を組織的に確認する現行体制を強化する必要がある。
改善・向上への取り組みおよび進捗状況 *成果の有無を問わない	
授業評価アンケートの後、専攻主任が成績評価の客観性、厳格性について院生の意見を聴取するようにしているが、その一方で、さらなる方策を講じる方向で検討している。	

<input type="checkbox"/> 課題事項	<input checked="" type="checkbox"/> ピアレビュー結果（留意点）
項目 No. 0405	ジョイント・ディグリー・プログラムを履修する学生が少ないので、他研究科との連携により履修者を増やすことが望まれる[0405c][0405d]。【B】
改善・向上への取り組みおよび進捗状況 *成果の有無を問わない	
ジョイント・ディグリー・プログラムの拡充を図る[4b-1]一方、学生の興味・関心を引くため、ジョイント・ディグリー・プログラムちらし[4b-2]を作成している。	

<input checked="" type="checkbox"/> 課題事項	<input type="checkbox"/> ピアレビュー結果（留意点）
項目 No. 0406	卒業生、就職先への意見聴取の体制を構築すること。
改善・向上への取り組みおよび進捗状況 *成果の有無を問わない	
大学院同窓会を通じての意見聴取を実施するとともに、就職希望の学生に対してキャリア支援課の活用をアドバイスしている。	

<input checked="" type="checkbox"/> 課題事項	<input type="checkbox"/> ピアレビュー結果（留意点）
項目 No. 0407	教育課程および内容、方法の適切性についての定期的会議の開催。
改善・向上への取り組みおよび進捗状況 *成果の有無を問わない	
大学院運営方針会議[4b-3]あるいは主任会議で、教育課程および内容、方法の適切性について定期的に議論している。	

<input type="checkbox"/> 課題事項	<input checked="" type="checkbox"/> ピアレビュー結果（留意点）
項目 No. 0406	学習成果を測る方法として、学生アンケートが主になっているが、客観的指標も策定することが望ましい。【B】
改善・向上への取り組みおよび進捗状況 *成果の有無を問わない	
大学院での学習の成果を測る客観的指標の策定は困難であることから、授業評価表によるアンケートを精緻化する方向で検討している。	

<input type="checkbox"/> 課題事項	<input checked="" type="checkbox"/> ピアレビュー結果（留意点）
項目 No. 0407	教育課程および内容、方法の適切性の点検について、定期的に行い、その点検の内容も記録に残しておくことが望ましい。【B】
改善・向上への取り組みおよび進捗状況 *成果の有無を問わない	
大学院運営方針会議[4b-3]あるいは主任会議で、教育課程および内容、方法の適切性について定期的に議論している。	

II. 自己点検・評価

1. 現状説明と自己評価

「自己評価」欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが他の模範となりうる」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善の余地がある」「B：取り組んでいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で、対象年度における自己評価を記入してください。

「現状説明」欄に、それぞれの「自己点検・評価項目」について、対象年度における実施状況を「評価の視点」も踏まえて記入してください。

自己点検・評価項目	0404	成績評価、単位認定および学位授与を適切に行っていること。	自己評価	S
評価の視点	(1)成績評価および単位認定を客観的かつ厳格で、公正、公平に実施しているか。 (2)成績評価および単位認定にかかる基準・手続（学生からの不服申立への対応含む）を学生に明示しているか。 (3)既修得単位や実践的な能力を修得している者に対する単位の認定等を適切に行っているか。 (4)学位授与における実施手続および体制が明確であるか。 (5)学位授与方針に則して、適切に学位を授与しているか。			
現状説明				
経営情報学専攻博士前期課程・経営学専攻修士課程への進学希望者が、学部 4 年次に大学院科目を履修した際の単位認定を規定している[4b-4][4b-5][4b-6]。また、経営情報学研究科、工学研究科、応用生物科学研究科で実施しているジョイント・ディグリー・プログラム制度[4b-2]において、修士課程の単位認定も規定している。 修了要件、学位論文の審査基準などを定めて学生便覧[4a-3 pp.31-44]に記載している。 学位論文の審査に当たっては修士論文、博士論文ともに研究科の規程[4b-7]に則り、学位請求論文の審査委員会を設置し、公聴会、発表会の結果も踏まえて審議し、その結果を審査報告書として取りまとめ、主任会議で確認後、研究科委員会において審議して適切に学位を授与している。				

自己点検・評価項目	0405	学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握および評価していること。	自己評価	A
評価の視点	(1)学習成果を把握・評価する目的や指標、方法等について考えを明確にしているか。 (2)学習成果を把握・評価する指標や方法は、学位授与方針に定めた学習成果に照らして適切なものか。 (3)指標や方法を適切に用いて学習成果を把握・評価し、大学として設定する目的に応じた活用を図っているか。 <<学習成果の測定方法例>> ・アセスメント・テスト（GPS-Academic） ・ルーブリックを活用した測定 ・学習成果の測定を目的とした学生調査（学びに関する調査 等） ・卒業生、就職先への意見聴取			
現状説明				
授業評価アンケート[4b-8][4b-9][4b-10][4b-11][4b-12]を実施し、受講生の授業に対する満足感、授業方法について数値化し、授業担当者にフィードバックし周知している。 授業評価アンケートの結果については、研究科長、各専攻主任に回覧し内容を点検するとともに、FDでも取り上げている[4a-1][4a-2]。				

自己点検・評価項目	0406	教育課程およびその内容、教育方法について定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。	自己評価	B
評価の視点	(1)教育課程およびその内容、教育方法に関する自己点検・評価の基準、体制、方法、プロセス、周期等を明確にしているか。 (2)課程修了時に求められる学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況、資格試験の取得状況、進路状況等の情報を活用するなど、適切な情報に基づいているか。			

	(3)外部の視点や学生の意見を取り入れるなど、自己点検・評価の客観性を高めるための工夫を行っているか。 (4)自己点検・評価の結果を活用し、教育課程およびその内容、教育方法の改善・向上に取り組んでいるか。
現状説明	
院生数が少ないため、各専攻主任が院生と直接面談して希望を聞く体制をとっている。また、各教員が年度ごとに重点目標を掲げ、年度末に達成度及び改善点について自己点検・評価[4b-13][4b-14][4b-15]を実施し、次年度以降の改善・向上に努めている。	

2. 長所・特色

各項目の「現状説明」の中で「先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の模範となるもの」を記入してください。

長所・特色 《箇条書き》	
項目 No. 0404	3 年間で 2 つの修士の学位が取得でき、講義等とおして社会人学生と交流ができるジョイント・ディグリー・プログラム制度を設けている[4b-2]。

3. 課題事項と今後の改善・向上方策

各項目の「現状説明」の中で「改善すべき点、向上すべき点」など、課題として認識した事項や、更なる向上を目指す事項について、現時点での改善・向上への取り組み（予定）および進捗状況を記入してください。

課題事項 《箇条書き》	
項目 No. 0406	教育課程およびその内容、教育方法について定期的に点検・評価を行う仕組みの確立
今後の改善・向上方策	
院生と直接面談して希望を聞く取り組みを続ける一方で、教育課程およびその内容、教育方法について定期的に点検・評価を行う仕組みを検討している。	

《以下はピアレビュー委員が記入します》

Ⅲ. ピアレビュー結果

総評	
0404	成績評価、単位認定および学位授与について、明確な基準に従って適切に実施されている[4a-3][4b-7]。 また、経営情報学研究科、工学研究科、応用生物学研究科によるジョイント・ディグリー・プログラム制度において、2 つの修士の学位が取得できる制度を設けている[4b-2][4b-4][4b-5][4b-6]。
0405	学生の学習成果を適切に把握および評価している[4b-8][4b-9][4b-10][4b-11][4b-12]。
0406	教育課程、教育内容、教育方法について点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいる[4b-13][4b-14][4b-15]。なお、現時点では院生が1～2 名であることから「院生と直接面談して希望を聞く取り組み」のみを継続していくこと、今後、院生数の倍増により院生との直接面談が困難になった際にあらためて「定期的に点検・評価を行う仕組み」を検討すること、研究科長と二専攻主任で構成される大学院運営方針会議で口頭合意のあったことがヒアリングで説明された。 以上のことから、DP に則して学習成果の適切な把握および評価が行われ、成績評価・単位認定および学位授与について基準に従って実施されていると判断できる。
長所・特色	
0404	3 年間で 2 つの修士の学位が取得でき、講義等とおして社会人学生と交流ができるジョイント・ディグリー・プログラム制度を設けている[4b-2]。

0405	学生授業評価アンケートの結果について、FD で取り上げている。
0406	専攻主任が直接院生と面談して、希望を聞く体制をとっている。
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	【A】 ・・・緊急の改善を要する事項 【B】 ・・・検討を要する事項
特になし	

根拠資料 No.	ピアレビューにより追加された根拠資料の名称	提出 区分
	なし	

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料

●：提出するが評価者以外の閲覧を不可とする

△：現部署で保管

2024 年度（対象年度 2021～2023 年度） 自己点検・評価シート

自己評価組織	経営情報学研究科
--------	----------

基準 5	学生の受け入れ
------	---------

I. 課題事項等への対応状況

前回の「自己点検・評価シート」の課題事項、ピアレビュー結果（留意点）を転記し、改善・向上への取り組みおよび進捗状況を記入してください。

<input checked="" type="checkbox"/> 課題事項	<input type="checkbox"/> ピアレビュー結果（留意点）
項目 No. 0504	学生募集および入学者選抜は、入学者受入れの方針(AP)に基づき、公正かつ適切に実施されているかについては、不定期で実施しているが、定期的に検証を行う体制を構築する。
改善・向上への取り組みおよび進捗状況 *成果の有無を問わない	
研究科長、各専攻主任による大学院運営方針会議[4b-3]において、以前よりは頻繁に検証している。	

<input type="checkbox"/> 課題事項	<input checked="" type="checkbox"/> ピアレビュー結果（留意点）
項目 No. 0503	多くの私立大学でも定員が満たされているわけではないが、現状では入学者が少ないので、改善が望まれる[0504a]。【B】
改善・向上への取り組みおよび進捗状況 *成果の有無を問わない	
研究科長、各専攻主任による大学院運営方針会議[4b-3]において随時、検証するとともに、大学院定員充足会議ワーキンググループでの検討を前提に大学院運営方針会議で定員減について議論している。	

<input type="checkbox"/> 課題事項	<input checked="" type="checkbox"/> ピアレビュー結果（留意点）
項目 No. 0504	学生募集対策の改善を継続して行うために、結果を検証する取り組みが望まれる。【B】
改善・向上への取り組みおよび進捗状況 *成果の有無を問わない	
研究科長、各専攻主任による大学院運営方針会議[4b-3]において定期的に検証している。	

II. 自己点検・評価

1. 現状説明と自己評価

「自己評価」欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが他の模範となりうる」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善の余地がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で、対象年度における自己評価を記入してください。

「現状説明」欄に、それぞれの「自己点検・評価項目」について、対象年度における実施状況を「評価の視点」も踏まえて記入してください。

自己点検・評価項目	0501	学生の受け入れ方針に基づき、学生募集および入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公平、公正に実施していること。	自己評価	A
評価の視点	(1)学生の受け入れ方針は、少なくとも学位課程ごと（学士課程・修士課程・博士課程）に設定しているか。 (2)学生の受け入れ方針は、入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像や、入学希望者に求める水準等の判定方法を志願者等に理解しやすく示しているか。 (5)すべての志願者に対して分かりやすく情報提供しているか。			

現状説明				
入学試験には一般試験、社会人試験および留学生試験があり、入試の役割分担については年度初めに決定し、研究科委員会で報告している[5-1][5-2][5-3]。				

自己点検・評価項目	0502	適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理していること。	自己評価	B
評価の視点	学士課程全体および各学部・学科並びに各研究科・専攻の入学者数や在籍学生数を適正に維持し、大幅な定員超過や定員未充足の場合には対策をとっているか。			
現状説明				
入学定員は満たしていないが、適切に管理している。また、定員未充足の場合の対策については研究科長、各専攻主任による大学院運営方針会議などで検討している[4b-1][4b-3][5-4][5-5]。				

自己点検・評価項目	0503	学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。	自己評価	A
評価の視点	(1)学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組みおよび課題を適切に把握しているか。 (2)点検・評価の結果を活用して、学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取り組みへとつなげているか。			
現状説明				
研究科長、各専攻主任による大学院運営方針会議などにおいて、定期的に検証している[4b-1][4b-3][5-4][5-5]。				

2. 長所・特色

各項目の「現状説明」の中で「先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の模範となるもの」を記入してください。

長所・特色 《箇条書き》	
項目 No. 0503	主任会議、研究科委員会とは別に大学院運営方針会議を設けている。

3. 課題事項と今後の改善・向上方策

各項目の「現状説明」の中で「改善すべき点、向上すべき点」など、課題として認識した事項や、更なる向上を目指す事項について、現時点での改善・向上への取り組み（予定）および進捗状況を記入してください。

課題事項 《箇条書き》	
項目 No. 0502	学生募集
今後の改善・向上方策	
大学院運営方針会議などにおいて他大学大学院の成功事例等を参考にして「学生募集戦略」を検討しているところである[4b-3][5-4][5-5][4b-1]。	

《以下はピアレビュー委員が記入します》

Ⅲ. ピアレビュー結果

総評	
0502	適切な定員設定とそれに基づく学生の受け入れ、および在籍学生の適正な管理に対して、入学定員を満たすことは難しいものの、管理は適切に行われている[4b-1][4b-3][5-4][5-5]。
0503	入学定員未充足の課題を改善するにあたり、大学院運営方針会議において検討している。

長所・特色	
0502	研究科長と専攻主任による大学院運営方針検討会議において、入学定員未充足の対策について、他学部から大学院への受入れ方策などが検討されている[4b-1][4b-3][5-4][5-5]。
0503	主任会議、研究科委員会とは別に設けられた大学院運営方針会議にて定員減について議論が重ねられている。
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	【A】 ・・・緊急の改善を要する事項 【B】 ・・・検討を要する事項
特になし	

根拠資料 No.	ピアレビューにより追加された根拠資料の名称	提出 区分
	なし	

提出区分 … ○:本シートと一緒に提出する資料

●：提出するが評価者以外の閲覧を不可とする

△：現部署で保管

2024 年度（対象年度 2021～2023 年度） 自己点検・評価シート

自己評価組織	経営情報学研究科
--------	----------

基準 6	教員・教員組織
------	---------

I. 課題事項等への対応状況

前回の「自己点検・評価シート」の課題事項、ピアレビュー結果（留意点）を転記し、改善・向上への取り組みおよび進捗状況を記入してください。

<input checked="" type="checkbox"/> 課題事項	<input type="checkbox"/> ピアレビュー結果（留意点）
項目 No. 0602・0605	教員の授業担当負担の適切な配慮として、退職による欠員の発生に対して、適切な教員組織の編成を維持する必要がある。
改善・向上への取り組みおよび進捗状況 *成果の有無を問わない	
退職による欠員が生じる場合には、短期的には教員の兼任、非常勤講師の採用などにより対応する方向で検討している。	

<input type="checkbox"/> 課題事項	<input checked="" type="checkbox"/> ピアレビュー結果（留意点）
項目 No. 0605	教員組織の適切性の定期的な点検が現在では行われていないので、今後は定期的な点検、評価を実施することが望ましい。【B】
改善・向上への取り組みおよび進捗状況 *成果の有無を問わない	
現状では、主任会議や研究会委員会は、日々の課題の検討に追われている。そこで、教員組織の適切性の定期的な点検・評価を行うべく、主任会議や研究会委員会の開催数を増加させるか、別の組織を設けるかのどちらが合理的か意見交換をしている段階である。	

II. 自己点検・評価

1. 現状説明と自己評価

「自己評価」欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが他の模範となりうる」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善の余地がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で、対象年度における自己評価を記入してください。

「現状説明」欄に、それぞれの「自己点検・評価項目」について、対象年度における実施状況を「評価の視点」も踏まえて記入してください。

自己点検・評価項目	0601	教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を安定的にかつ十全に展開できる教員組織を編制し、学習成果の達成につながる教育の実現や大学として目指す研究上の成果につなげていること。	自己評価	A
評価の視点	(1)大学として求める教員像や教員組織の編制方針に基づき、教員組織を編制しているか。 ※具体的な例 ・教員が担う責任の明確性。 ・法令で必要とされる数の充足。 ・科目適合性を含め、学習成果の達成につながる教育や研究等の実施に適った教員構成。 ・各教員の担当授業科目、担当授業時間の適切な把握・管理 ・複数学部等の基幹教員を兼ねる者について、業務状況や教育効果の面での適切性。 (2)クロスアポイントメントなどによって、他大学または企業等の人材を教員として任用する場合			

	は、教員の業務範囲を明確に定め、また、業務状況を適切に把握しているか。 (3)教員は職員と役割分担し、それぞれの責任を明確にしながら協働・連携することで、組織的かつ効果的な教育研究活動を実現しているか。 (4)授業において指導補助者に補助又は授業の一部を担当させる場合、あらかじめ責任関係や役割を規程等に定め、明確な指導計画のもとで適任者にそれを行わせているか。
現状説明	
大学院担当資格[6-1]については大学院担当資格審査委員会を設置して審議し、その結果を研究科委員会に諮っている[6-2][6-3]。	

自己点検・ 評価項目	0602	教員の募集、採用、昇任等を適切に行っていること。	自己 評価	S
評価の視点	(1)教員の募集、採用、昇任等に関わる明確な基準および手続に沿い、公正性に配慮しながら人事を行っているか。 (2)年齢構成に著しい偏りが生じないように人事を行っているか。また、性別など教員の多様性に配慮しているか。			
現状説明				
・教員組織、昇格などの教員人事については、中部大学教員資格基準で明確化されている[6-4]。 ・また、学部教員の採用・昇格基準ならびに審査プロセスについて、2021年度の教授会で議論が進められ、新たな「経営情報学部 昇格・採用基準」が2021年7月に制定され、2023年4月に一部改正された[6-1]。				

自己点検・評価項目	0603	教育研究活動等の改善・向上、活性化につながる取り組みを組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上につなげていること。	自己評価	S
評価の視点	(1)教員の教育能力の向上、教育課程や授業方法の開発および改善につなげる組織的な取り組みを行い、成果を得ているか。 (2)教員の研究活動や社会貢献等の諸活動の活性化や資質向上を図るために、組織的な取り組みを行い、成果を得ているか。 (4)教員以外が指導補助者となって教育に関わる場合、必要な研修を行い、授業の運営等が適切になされるよう図っているか。			
現状説明				
FD活動を組織的にしている[4a-1][4a-2][6-5][6-6][6-7][6-8][6-9][6-10][6-11]。				

自己点検・評価項目	0604	教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。	自己評価	B
評価の視点	(1)教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組みおよび課題を適切に把握しているか。 (2)点検・評価の結果を活用して、教員組織に関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取り組みへとつなげているか。			
現状説明				
教員組織の適切性については、教員の欠員が生じた場合にその都度対応しており、定期的な点検・評価は行っていない。				

2. 長所・特色

各項目の「現状説明」の中で「先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の模範となるもの」を記入してください。

長所・特色	《箇条書き》
項目 No. 0603	FD活動の一環として、大学院授業評価アンケートの結果と、その考察を全教員に報告している[4a-1][4a-2]。

3. 課題事項と今後の改善・向上方策

各項目の「現状説明」の中で「改善すべき点、向上すべき点」など、課題として認識した事項や、更なる向上を目指す事項について、現時点での改善・向上への取り組み（予定）および進捗状況を記入してください。

課題事項 《箇条書き》	
項目 No. 0602	教員の授業担当負担の適切な配慮として、退職による欠員の発生に対して、適切な教員組織の編成を維持する必要がある。
今後の改善・向上方策	
適切な教員組織の編成を維持する方策について意見交換をしている段階である。	

《以下はピアレビュー委員が記入します》

Ⅲ. ピアレビュー結果

総評	
レビューなし	
長所・特色	
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	【A】 ・・・緊急の改善を要する事項 【B】 ・・・検討を要する事項

根拠資料 No.	ピアレビューにより追加された根拠資料の名称	提出 区分

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料
 ●：提出するが評価者以外の閲覧を不可とする
 △：現部署で保管

2024 年度 (対象年度 2021～2023 年度) 自己点検・評価シート

自己評価組織 経営情報学研究科

基準 7 学生支援

I. 課題事項等への対応状況

前回の「自己点検・評価シート」の課題事項、ピアレビュー結果（留意点）を転記し、改善・向上への取り組みおよび進捗状況を記入してください。

<input checked="" type="checkbox"/> 課題事項	<input type="checkbox"/> ピアレビュー結果（留意点）
項目 No. 0702	できるだけ早く内定を得られるようキャリア支援を充実させる。
改善・向上への取り組みおよび進捗状況	*成果の有無を問わない
指導教授がキャリア支援に積極的に取り組むよう促している。ただし、組織的な取り組みについてはまだ正式には検討していない。	

II. 自己点検・評価

1. 現状説明と自己評価

「自己評価」欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが他の模範となりうる」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善の余地がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で、対象年度における自己評価を記入してください。

「現状説明」欄に、それぞれの「自己点検・評価項目」について、対象年度における実施状況を「評価の視点」も踏まえて記入してください。

自己点検・評価項目	0701	学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制を整備し、適切に実施していること。	自己評価	A
評価の視点	<p>(4) [修学支援 (学習面)] 学生が能力に応じて自律的に学習を進められるようサポートする仕組みを整備しているか (補習教育、補充教育、学習に関わる相談等)。</p> <p>(5) [修学支援 (学習面)] 障がいのある学生や留学生の実態に応じ、それらの学生に対する修学支援を行っているか。</p> <p>(6) [修学支援 (学習面)] 学習の継続に困難を抱える学生 (留年者、退学希望者等) に対し、その実態に応じて対応しているか。</p> <p>(8) [修学支援 (学習面)] ICT を利用した遠隔授業を行う場合にあっては、自宅等の個々の場所で学習する学生からの相談に対応するなどの学習支援を行っているか。また、学生の通信環境へ配慮した対応 (授業動画の再視聴機会の確保等) を必要に応じて行っているか。</p> <p>(10) [生活支援] 学生の心身の健康、保健衛生等に関わる指導相談を、学生の実態に応じて行っているか。</p> <p>(11) [生活支援] 学生の孤立化を防止するため、人間関係構築につながる措置 (学生の交流機会の確保等) を必要に応じて行っているか。とりわけ I C T を利用した遠隔授業を行う場合において配慮しているか。</p> <p>(12) [進路支援] 各学位課程 (学士課程、修士課程や博士課程など) や分野等における必要性、個々の学生の特性等に応じ、就職支援のほか、職業的自立に向けたキャリア教育・キャリア形成支援等の進路支援を行っているか。</p> <p>(13) [その他支援] ボランティア活動・部活動等の正課外における学生の活動への支援など、必要</p>			

	に応じた支援を行っているか。 (14) [学生の基本的人権の保障] ハラスメント防止、プライバシー権の保障や苦情申立への対応など、学生の基本的人権の保障を図る取り組みを行っているか。
現状説明	
<p>院生数が少ないため、主指導教授と副指導教授だけで各種の支援をきめ細かく行うことができている。たとえば、講義終了後、随時、院生から講義に対する要望をヒアリングするなどしている。他方、進路支援については、キャリア支援課から報告される進路状況表を教授会資料[7-1][7-2][7-3]として全教員に情報共有し、多面からの支援が期待できる体制をとっている。</p> <p>ハラスメント防止のために、FD 活動として講演「ハラスメントに関する基礎的な理解」を開催した[6-5]。</p>	

自己点検・評価項目	0702	学生支援に関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。	自己評価	B
評価の視点	(1)学生支援に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組みおよび課題を適切に把握しているか。 (2)点検・評価の結果を活用して、学生支援に関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取り組みへとつなげているか。			
現状説明				
学生支援については、主指導教授はもちろん副指導教授も随時行っている。ただし、学生支援に関わる状況を定期的に点検・評価しようという意識が希薄であった。				

2. 長所・特色

各項目の「現状説明」の中で「先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の模範となるもの」を記入してください。

長所・特色 《箇条書き》	
項目 No. 0701	主指導教授に加えて副指導教授を2名配置し、複数の教員で指導する体制をとっている[7-4]。

3. 課題事項と今後の改善・向上方策

各項目の「現状説明」の中で「改善すべき点、向上すべき点」など、課題として認識した事項や、更なる向上を目指す事項について、現時点での改善・向上への取り組み（予定）および進捗状況を記入してください。

課題事項 《箇条書き》	
項目 No. 0702	学生支援に関わる状況を定期的に点検・評価する仕組みの構築
今後の改善・向上方策	
主任会議や大学院運営方針会議[4b-3]などで、学生支援に関わる状況を定期的に点検・評価する仕組みを検討している。	

《以下はピアレビュー委員が記入します》

Ⅲ. ピアレビュー結果

総評	
0701	全学的な取組みに加え、講義終了後に学生から講義に対する要望をヒアリングするなどの活動が実施されている。
0701	院生数が少ないため、主指導教授および副指導教授による手厚い学生支援が整えられている[7-1][7-2][7-3]。

長所・特色	
0701	講義終了後等、学生から講義に対する要望をヒアリングするなどの活動が随時実施されている。
0701	ハラスメント防止のため、講演「ハラスメントに関する基礎的な理解」が開催された[6-5]。
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
特になし	

根拠資料 No.	ピアレビューにより追加された根拠資料の名称	提出 区分
	なし	

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料
●：提出するが評価者以外の閲覧を不可とする
△：現部署で保管

2024 年度 (対象年度 2021～2023 年度) 自己点検・評価シート

自己評価組織 経営情報学研究科

基準 8 教育研究等環境

I. 課題事項等への対応状況

前回の「自己点検・評価シート」の課題事項、ピアレビュー結果（留意点）を転記し、改善・向上への取り組みおよび進捗状況を記入してください。

<input checked="" type="checkbox"/> 課題事項	<input type="checkbox"/> ピアレビュー結果（留意点）
項目 No.	院生室の土曜日、日曜日の利用を促進する。
改善・向上への取り組みおよび進捗状況	*成果の有無を問わない
院生室の利便性を随時、院生に説くとともに、土曜日と日曜日に春日井キャンパスの院生室を利用できるよう経営学専攻の学生の入館登録をした[8-1]。	

II. 自己点検・評価

1. 現状説明と自己評価

「自己評価」欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが他の模範となりうる」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善の余地がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で、対象年度における自己評価を記入してください。

「現状説明」欄に、それぞれの「自己点検・評価項目」について、対象年度における実施状況を「評価の視点」も踏まえて記入してください。

自己点検・評価項目	0803	研究活動に関わる支援、条件整備を通じ、研究活動の促進を図っていること。 また、健全な研究活動のために必要な措置を講じていること。	自己評価	A
評価の視点	(2)研究倫理や研究活動の不正防止に関する規程を定め、かつ、学生も含めて研究倫理の遵守を図る取り組みを行っているか。			
現状説明				
院生数が限られていることもあり、院生室・講義室などの整備に関する問題はない。また、必要な図書等についても、院生費[8-2]により購入することができるため、問題ない。 研究倫理の遵守を図るべく大学院学生便覧の「審査基準・審査手順について」[4a-3 pp. 31-44]を随時提示し、様々な観点から不正行為がないかチェックされることを説明している。				

自己点検・評価項目	0804	教育研究等環境に関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。	自己評価	A
評価の視点	(1)教育研究等環境に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組みおよび課題を適切に把握しているか。 (2)点検・評価の結果を活用して、教育研究等環境に関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取り組みへとつなげているか。			
現状説明				
教育研究等環境に関わる状況について、意見交換し改善を図っている。				

2. 長所・特色

各項目の「現状説明」の中で「先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の模範となるもの」を記入してください。

長所・特色 《箇条書き》	
項目 No. 0803	院生費が支給されており、研究に必要な図書・備品等を購入することができる[8-2]。

3. 課題事項と今後の改善・向上方策

各項目の「現状説明」の中で「改善すべき点、向上すべき点」など、課題として認識した事項や、更なる向上を目指す事項について、現時点での改善・向上への取り組み（予定）および進捗状況を記入してください。

課題事項 《箇条書き》	
項目 No. 0803	院生間の議論が活発化する程度の院生数を確保する。
今後の改善・向上方策	
大学院運営方針会議などで、入学者を確保する方策について検討しているところである[4b-1][4b-3][5-4][5-5]。	

《以下はピアレビュー委員が記入します》

Ⅲ. ピアレビュー結果

総評	
レビューなし	
長所・特色	
留意点	
*各項目に留意点レベルを記入	
【A】・・・緊急の改善を要する事項	
【B】・・・検討を要する事項	

根拠資料 No.	ピアレビューにより追加された根拠資料の名称	提出 区分

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料

●：提出するが評価者以外の閲覧を不可とする

△：現部署で保管

2024 年度 (対象年度 2021～2023 年度) 自己点検・評価シート

自己評価組織 経営情報学研究科

基準 9 社会連携・社会貢献

I. 課題事項等への対応状況

前回の「自己点検・評価シート」の課題事項、ピアレビュー結果（留意点）を転記し、改善・向上への取り組みおよび進捗状況を記入してください。

<input checked="" type="checkbox"/> 課題事項	<input type="checkbox"/> ピアレビュー結果（留意点）
項目 No.	社会連携・社会貢献を推進している本部担当組織との緊密な連携体制の構築。
改善・向上への取り組みおよび進捗状況	*成果の有無を問わない
検討段階である。	

<input type="checkbox"/> 課題事項	<input checked="" type="checkbox"/> ピアレビュー結果（留意点）
項目 No. 0902	教員個人単位では、さまざまな社会連携や地域交流、社会貢献活動が行われているが、組織的な活動としての取り組みには至っていないため、それらの活動が学生への教育効果のあることを具体的にまとめて、学生募集や保護者向けの行事などに活用できることが望ましい。【B】
改善・向上への取り組みおよび進捗状況	*成果の有無を問わない
検討段階である。	

II. 自己点検・評価

1. 現状説明と自己評価

「自己評価」欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが他の模範となりうる」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善の余地がある」「B：取り組んでいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で、対象年度における自己評価を記入してください。

「現状説明」欄に、それぞれの「自己点検・評価項目」について、対象年度における実施状況を「評価の視点」も踏まえて記入してください。

自己点検・ 評価項目	0901	社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施していること。また、教育研究成果を適切に社会に還元していること。	自己 評価	S
評価の視点	(1)社会連携・社会貢献に関する方針のもと、学外機関、地域社会等との連携、大学が生み出す知識、技術等を社会に還元する取り組みを行っているか。 (2)社会連携・社会貢献に関する取り組みにより、地域や社会の課題解決等に貢献し、大学の存在価値を高めることにつながっているか。			
現状説明				
新聞、テレビ、ラジオ、雑誌、インターネット記事などのメディア掲載実績に限定しても 50 件を超えており、社会連携・社会貢献に関する取り組みは一定の成果を挙げている[9-1]。今後の課題は、教員個人の活動だけではなく、組織的な活動にも着手することである。				

自己点検・評価項目	0902	社会連携・社会貢献活動の状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。	自己評価	S
-----------	------	---	------	---

評価の視点	(1)社会連携・社会貢献に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上 がっている取り組みおよび課題を適切に把握しているか。 (2)点検・評価の結果を活用して、社会連携・社会貢献に関わる事項の改善・向上に 取り組み、効果的な取り組みへとつなげているか。
現状説明	
教員活動重点目標・自己評価シート[2-4][2-5][2-6]の評価項目の1つとして「社会貢献」があり、また、学部独自の評価シート[2-1][2-2][2-3]の評価項目の1つとして「社会貢献に関する業績」がある。これらによって、社会連携・社会貢献活動の状況を定期的に点検・評価している。	

2. 長所・特色

各項目の「現状説明」の中で「先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の模範となるもの」を記入してください。

長所・特色	《箇条書き》
項目 No. 0902	学部独自の評価シート[2-1][2-2][2-3]の評価項目の1つとして「社会貢献に関する業績」を挙げている。

3. 課題事項と今後の改善・向上方策

各項目の「現状説明」の中で「改善すべき点、向上すべき点」など、課題として認識した事項や、更なる向上を目指す事項について、現時点での改善・向上への取り組み（予定）および進捗状況を記入してください。

課題事項	《箇条書き》
項目 No. 0901	社会連携・社会貢献に関して教員個人の活動だけではなく、組織的な活動にも着手する。
今後の改善・向上方策	
現状では、社会連携・社会貢献に関する教員個人の活動について必ずしも情報が共有されていない。そこで、組織的な活動に着手するに先立ち、まずは社会連携・社会貢献に関する活動の情報共有を促す方向で検討している。	

《以下はピアレビュー委員が記入します》

Ⅲ. ピアレビュー結果

総評
レビューなし
長所・特色
留意点
*各項に留意点レベルを記入
【A】・・・緊急の改善を要する事項
【B】・・・検討を要する事項

根拠資料 No.	ピアレビューにより追加された根拠資料の名称	提出 区分

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料
●：提出するが評価者以外の閲覧を不可とする
△：現部署で保管

2024 年度（対象年度 2021～2023 年度） 自己点検・評価シート

自己評価組織	経営情報学研究科
--------	----------

基準 11	大学独自の評価項目
-------	-----------

I. 課題事項等への対応状況

前回の「自己点検・評価シート」の課題事項、ピアレビュー結果（留意点）を転記し、改善・向上への取り組みおよび進捗状況を記入してください。

<input checked="" type="checkbox"/> 課題事項	<input type="checkbox"/> ピアレビュー結果（留意点）
項目 No. 1120	研究科委員会議事録の内容の確認体制の構築
改善・向上への取り組みおよび進捗状況	*成果の有無を問わない
研究科委員会議事録の内容の確認体制については研究科委員会で確認をする体制を構築する予定である。	

<input type="checkbox"/> 課題事項	<input checked="" type="checkbox"/> ピアレビュー結果（留意点）
項目 No. 1120	各種委員会が組織されていないので、委員会を設けて、規程集を策定の上、その活動を議事録に記録することが望まれる。もしくは、研究科委員会及び主任会議での検討等の適切性について、定期的に点検・評価を行うシステムを構築していただきたい。【B】
改善・向上への取り組みおよび進捗状況	*成果の有無を問わない
大学院運営方針会議[4b-3]を新たに設け、研究科委員会及び主任会議での検討等の適切性について体制を構築する予定である。	

II. 自己点検・評価

1. 現状説明と自己評価

「自己評価」欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが他の模範となりうる」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善の余地がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で、対象年度における自己評価を記入してください。

「現状説明」欄に、それぞれの「自己点検・評価項目」について、対象年度における実施状況を「評価の視点」も踏まえて記入してください。

自己点検・評価項目	1121	管理運営組織および教育研究組織において、持続的に業務内容の点検を行っているか。	自己評価	A
評価の視点	(2)委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続は、適切に行っているか。			
現状説明				
・中部大学経営情報学研究科委員会規程[4b-7]に基づいて経営情報学研究科委員会を設置しており、議事録も適切に作成されている[5-1][5-2][5-3]。 ・研究科委員会の会議資料は、電子データ化してサイトにアップロードすることで事前配信されている他（ペーパーレス化）、必要に応じて紙の資料も会議で配布することになっている。また、事前配信した資料は会議の際、大型スクリーンに投影される。 ・研究科委員会の資料については、学部ホームページ内教員専用ページ[11-1]に掲載され、必要に応じて閲覧できるようになっている。				

2. 長所・特色

各項目の「現状説明」の中で「先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の模範となるもの」を記入してください。

長所・特色 《箇条書き》	
項目 No. 1121	審議事項・報告事項は原則としてすべて研究科委員会に先立ち、事前に主任会議で検討して慎重を期している。特に、重要な事項については、主任会議の前に大学院運営方針会議でも検討している[4b-3]。

3. 課題事項と今後の改善・向上方策

各項目の「現状説明」の中で「改善すべき点、向上すべき点」など、課題として認識した事項や、更なる向上を目指す事項について、現時点での改善・向上への取り組み（予定）および進捗状況を記入してください。

課題事項 《箇条書き》	
項目 No.	特になし。
今後の改善・向上方策	

《以下はピアレビュー委員が記入します》

Ⅲ. ピアレビュー結果

総評	
レビューなし	
長所・特色	
留意点	
*各項目に留意点レベルを記入	
【A】・・・緊急の改善を要する事項	
【B】・・・検討を要する事項	

根拠資料 No.	ピアレビューにより追加された根拠資料の名称	提出 区分

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料

●：提出するが評価者以外の閲覧を不可とする

△：現部署で保管

2024年度 自己点検・評価シート 根拠資料一覧

組織名

経営情報学研究科

基準（シートNo.）	根拠資料 No.	根拠資料の名称	提出 区分
2. 内部質保証 (NF2)	2-1	【提出用】2021年度評価シート	○
	2-2	【提出用】2022年度評価シート	○
	2-3	【提出用】2023年度評価シート	○
	2-4	2021年度教員活動重点目標・自己評価シート（様式1）	○
	2-5	2022年度教員活動重点目標・自己評価シート（様式1）	○
	2-6	2023年度教員活動重点目標・自己評価シート（様式1）	○
	2-7	中部大学の内部質保証HP https://www.chubu.ac.jp/about/facts-figures/known/quality-assurance/	○
	2-8	2021年度教員活動報告自己申告書（様式2）	○
	2-9	2022年度教員活動報告自己申告書（様式2）	○
4. 教育・学習(4a) (NF4a・EF4)	4a-1	[B-staff-m1] 2022年度大学院の授業評価についてのFD活動報告	○
	4a-2	2023年度大学院FD 授業評価 2024-03-19	○
	4a-3	2023年度大学院学生便覧	○
	4a-4	シラバス第三者点検について(メール文)	○
	4a-5	2023年度シラバス第3者点検について (MGメール文)	○
	4a-6	経営情報学専攻科目のシラバスの修正について (お願いメール文)	○
	4a-7	2021年度経営情報学研究科主な年間スケジュール	○
	4a-8	2022年度経営情報学研究科主な年間スケジュール	○
	4a-9	2023年度経営情報学研究科主な年間スケジュール	○
4. 教育・学習(4b) (NF4b)	4b-1	大学院定員充足会議（ジョイント・ディグリー・プログラムの拡張等）2023-05-26	○
	4b-2	ジョイント・ディグリー・プログラムちらし	○
	4b-3	大学院運営方針会議2022-11-18	○
	4b-4	大学院科目等履修制度オリ用資料簡易版2021春学期	○
	4b-5	大学院科目等履修制度オリ用資料簡易版2022春学期	○
	4b-6	大学院科目等履修制度オリ用資料簡易版2023春学期	○
	4b-7	中部大学大学院経営情報学研究科委員会規程	○
	4b-8	2021年度春学期経営情報学研究科授業評価結果（送付）	○
	4b-9	2022年度春学期経営情報学研究科授業評価結果（送付）	○
	4b-10	2021年度秋学期経営情報学専攻授業評価結果（送付）	○
	4b-11	2023年度春学期経営情報学研究科授業評価結果（送付）	○
	4b-12	2023年度秋学期経営情報学研究科授業評価結果（送付）	○
	4b-13	2021年度教員活動重点目標・自己評価シート	○
	4b-14	2022年度教員活動重点目標・自己評価シート	○
	4b-15	2023年度教員活動重点目標・自己評価シート	○
5. 学生の受け入れ (NF5・EF5)	5-1	2021年度 第1回経営情報学研究科委員会議事録	○
	5-2	2022年度 第1回経営情報学研究科委員会議事録	○
	5-3	2023年度 第1回経営情報学研究科委員会議事録	○
	5-4	大学院運営方針の打ち合わせ2022-03-23	○
	5-5	第2回大学院運営方針会議議事録2022-12-21	○
6. 教員・教員組織 (NF6)	6-1	経営情報学部教員資格および大学院担当資格基準	△
	6-2	2021年度第8回経営情報学研究科委員会議事録	○
	6-3	2023年度第9回経営情報学研究科委員会議事録	○
	6-4	中部大学教員資格基準	○
	6-5	[B-staff-m1] 2021年度 経営情報学部・大学院経営情報学研究科FD講演会（2021年11月18日（木）開催）につきまして	○
	6-6	[B-staff-m1] 2022年度第1回経営情報学研究科委員会開催について（案内）	○
	6-7	[B-staff-m1] 【産業経済研究所】2022年度産業経済研究所講演会（7月6日開催）のご案内	○
	6-8	[B-staff-m1] 【産業経済研究所】2022年度第2回産業経済研究所講演会（1月11日開催）のご案内	○
	6-9	[B-staff-m1] 【産業経済研究所】2023年度産業経済研究所講演会（7月5日開催）のご案内	○
	6-10	[B-staff-m1] 【開催案内】（9.27開催）FD活動「Chat GPTを利用した教育と研究の効率化」	○
	6-11	[B-staff-m1] FD講演会の実施について（1.17）	○

2024年度 自己点検・評価シート 根拠資料一覧

組織名	経営情報学研究科
-----	----------

基準（シートNo.）	根拠資料 No.	根拠資料の名称	提出 区分
7. 学生支援 (NF7・EF7)	7-1	2021年度第2回経営情報学部教授会議事録	○
	7-2	2022年度第2回経営情報学部教授会議事録	○
	7-3	2023年度第2回経営情報学部教授会議事録	○
	7-4	2023年度修士論文発表会スケジュール(院生・主査・副査)	○
8. 教育研究等環境 (NF8)	8-1	2022年度入館許可願（21号館・22号館）	○
	8-2	院生研究支援取扱要領	○
9. 社会連携・社会貢献 (NF9)	9-1	メディアに紹介される経営情報学部 https://www.chubu.ac.jp/academics/business/media/	○
11. 大学独自の評価項目 (NF11)	11-1	学部ホームページ内教員専用ページ（要認証） https://www3.chubu.ac.jp/business/faculty_staff/keijyo/	○

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料

●：提出するが評価者以外の閲覧を不可とする

△：現部署で保管